

野登地区

まちづくり協議会

■ 設立日

平成27年4月26日

■ 人口・世帯数

2,041人・838世帯
(基準日:令和2年10月1日)

■ 区域

安坂山町、両尾町、辺法寺町

■ めざす姿

一人ひとりが生き生きと輝き、互いに支えあう安心して暮らせるまち

■ 地域の誇り

ネコギギ(国指定天然記念物)の生息や棚田百選に選ばれた坂本棚田などの地域資源がある。

野登地区まちづくり協議会は、6つの地区の特色を生かしながら、地域の連携を大切に「めざす野登の姿」を心掛け活動しています。地域の安心とつながりを目指し、「声かけ・あいさつ運動」の標語を募集して優秀作品をのぼりにし、年に2回運動に取り組んでいます。また、小学校の運動会には、保育園、中学校、地域住民が参加し、地域一体となって盛り上げています。特筆すべきは、中学生が自分たちで種目や演技内容を考え、一生懸命取り組む姿が小学生の見本になっていることです。最後の地区別対抗リレーは、昔と変わらず大変な盛り上がりを見せます。



『みつまたを愛する会』が中心となって、地域に埋もれていた資源「みつまた」に注目し「みつまたの郷づくり」に取り組み、2年前から小学生がみつまたで卒業証書づくりをしています。早春には、美しい黄色の花を咲かせ、みつまたの群生地から鶏足山野登寺への登山者が多く訪れるようになってきました。このように、隠れている資源を掘り起こし、地域にメリットが生まれ、生きがいを感じられるまちづくりを進めていきます。

白川地区

まちづくり協議会

■ 設立日

平成27年5月12日

■ 人口・世帯数

757人・327世帯
(基準日:令和2年10月1日)

■ 区域

白木町、小川町

■ めざす姿

共に支え合い、共に暮らせる『生き活きたらかわの郷』

■ 地域の誇り

白川小学校を地域の核に、地域の宝である子どもたちと強いつながりを持っている。



白川地区まちづくり協議会は、白川小学校を核として3自治会、婦人会、子ども会、老人クラブおよび愛好会の各団体が共に協力しながら活動しています。

「生き活きたらかわ地域みんなでまちづくり」をスローガンとして、自助・共助の精神を持って、自ら考え、自ら取り組み、地域の共通の願いの実現や問題の解決を図り、安心・安全、健康で住みよいまちづくりを目指して、日々活動しています。

令和3年度は、毎年恒例の高齢者生活支援・介護予防の福祉事業を継続します。加えて、学校運営協議会と共に白川の特産物化を目指して、炭焼き事業を新たに計画しました。引き続き、「自分たちの住む地域を自分たちで創りあげる」ための地域課題は何かを考え、『こんな地域にしたいな!』をみんなで話し合い、まちづくり計画書を基に、環境美化、防災防犯、福祉および体育文化活動を実施していくことが白川地区まちづくり協議会の役割だと思っています。

